

令和元年第2回定例会

6月6日～6月28日

	審件	議数	可決・採択	否決・不採択	継続
市長提出議案	12	12	0	0	0
議員提出議案	11	8	3	0	0
請願	1	1	0	0	0

みたか議会だより

第315号

令和元年(2019年)7月28日

発行・三鷹市議会 ☎0422(44)0249 〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
三鷹市議会ホームページ <http://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/>



現在の三鷹駅南口中央通り

令和元年度一般会計補正予算など 市長提出12件・議員提出8件の議案を可決

三鷹市議会は、令和元年第2回定例会を6月6日から6月28日までの23日間の会期で開催しました。定例会初日、2日目の本会議(6月6日、7日)では、21人の議員が市政に関する一般質問を行いました(5～7面)「一般質問の要旨」。

3日目の本会議(6月10日)では、市長から「三鷹市組織条例の一部を改正する条例」など10件の議案の提案理由、令和元年度補正予算編成にあたっての市政運営の基本的な考え方について説明が行われました。4日目の本会議(6月13日)では、「三鷹市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」など市長提出議案2件を可決しました。その後、令和元年度補正予算議案に対する代表質疑を6つの交渉会派が行いました(4面に代表質疑の要旨)。補正予算議案については、同日設置の補正予算審査特別委員会に付託され、審査を行いました(3面に掲載)。

5日目の本会議(6月28日)では、委員会の審査報告の後「令和元年度三鷹市一般会計補正予算(第1号)」など市長提出議案8件を可決、請願1件を採択するとともに、追加人事議案2件に同意しました。続いて、議員提出議案「三鷹市議会委員会条例の一部を改正する条例」を可決した後、意見書・決議について採決を行い、7件を可決、3件を否決し、第2回定例会を閉会しました。

政務活動費の実績報告書等をホームページで公開しています

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されます。三鷹市議会では、会派の所属議員数に月額2万7千円をかけた金額を交付しています(8面参照)。

表彰

6月11日、全国市議会議長会から次の議員が表彰されました。

政務活動費の情報(5年分)については、情報公開総合窓口(市役所2階)で

【議員在職20年以上】
高公員一朗 穴戸 治重

本号の主な内容

- 2面 ◇可決した議案
- 3面 ◇令和元年度補正予算審査報告 ◇委員会の活動
- 4面 ◇代表質疑
- 5～7面 ◇一般質問
- 8面 ◇第2回定例会審議結果 ◇平成30年度政務活動費収支実績

議会日誌

平成31年4月～令和元年6月

日	内容
6月 3日	議会運営委員会、各派代表者会議
6日	本会議
7日	本会議
10日	本会議
12日	議会運営委員会、各派代表者会議
13日	本会議、補正予算審査特別委員会
14日	総務委員会
17日	総務委員会、まちづくり環境委員会
18日	文教委員会、厚生委員会
20日	補正予算審査特別委員会
21日	補正予算審査特別委員会
24日	東京外郭環状道路調査対策特別委員会、調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
25日	三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会
26日	議会運営委員会、各派代表者会議
27日	補正予算審査特別委員会
28日	本会議、総務委員会、まちづくり環境委員会、議会運営委員会、各派代表者会議

QRコードを導入しました

本号から、代表質疑及び一般質問の録画を視聴できるQRコードを、各議員のタイトル欄に導入しました。アプリ等で読み取ると、それぞれの録画を閲覧いただけます。

第2回定例会

可決した議案

市長提出議案

条例

◆三鷹市組織条例の一部を改正する条例

新たに都市再生部を設置し、分掌事務を定めるとともに、都市整備部の分掌事務を改めるほか、規定を整備するもの。

◆地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員制度を導入し、当該職員の報酬、期末手当、勤務時間等を定めるほか、規定を整備するもの。

◆三鷹市市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税の住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長等を行うとともに、法人市民税の電子申告義務化に伴う例外措置、軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減等を行うほか、規定を整備するもの。

◆三鷹市災害用慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害援護資金の貸し付けについて、必須であった保証人を任意とし、貸付利率を改めるとともに、償還方

法の拡充として新たに月賦償還を加えるもの。

◆三鷹市下水道条例の一部を改正する条例

消費税率引き上げに伴い、下水道使用料に係る消費税率を8%から10%に改めるもの。

補正予算

◆令和元年度三鷹市一般会計補正予算(第1号)

※補正予算議案については3面に関連記事掲載

契約

◆中仙川雨水貯留施設整備工事請負契約の締結について

更なる水害対策として中原一丁目、調布市と連携し、雨水貯留施設を整備するもの。契約の金額は2億3千700万円、契約の相手方は、東京都三鷹市井口三丁目19番23号株式会社カネエコーポレーションで、工期は契約確定日の翌日から令和3年6月30日までである。

◆三鷹市東部水再生センター監視制御設備等更新工事(第三期) 請負契約の締結について

平成27年度から実施している東部水再生センター監視制御設備等の更新工事について、第三期工事を実施するもの。契約の金額は10億9千800万円、契約の

相手方は、東京都千代田区神田須田町一丁目25番地メタウォーター株式会社営業本部東京営業部で、工期は契約確定日の翌日から令和3年1月31日までである。



東部水再生センター

◆三鷹市立第一中学校長寿命化改修Ⅱ期工事請負契約の締結について

学校施設の長寿命化と防災機能の強化を図るために、平成30年度に引き続き、第一中学校の長寿命化改修のⅡ期の工事を行うもの。契約の金額は2億6千600万円、契約の相手方は、東京都三鷹市下連雀三丁目4番29号白石・大創建設共同企業体で、工期は契約確定日の翌日から令和2年1月31日までである。



第一中学校

人事

◆教育長の任命について

貝ノ瀬 滋氏(新任)

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

山本 剛嗣氏(再任)

その他

◆市道路線の認定について
地形等の問題から、民有地に公共下水道を整備するため、土地所有者の協力を得て、昭和61年から無償で使用してきた大沢一丁目の場所が、土地所有者の事情により売却が必要が生じたため、下水道施設の占有部分について寄附を受け、市道第82号線として路線の認定を行うもの。

議員提出議案

条例

◆三鷹市議会委員会条例の一部を改正する条例

三鷹市組織条例の一部改正に伴い、常任委員会の所管事項について改めるもの。

意見書・決議(要旨)

◆児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

本市議会は、国会及び政府に対し、今国会で児童福祉法等が改正されたが、児童虐待防止対策のさらなる強化を図るため、次の事項につき、取り組みの推進を強く求める。(1)「しつけによる体罰は要らない」とい

う認識を社会全体で共有できるように周知啓発に努めるとともに、法施行後必要な検討を進めるとしている。民法上の懲戒権や子どもの権利擁護のあり方についても速やかに結論を出すこと。(2)学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。(3)虐待防止のための情報共有システムを全ての都道府県・市町村で速やかに構築ができるよう対策を講じるとともに、全国統一の運用ルールや基準を国において速やかに定めること。(4)児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所等との連携を強化し、児童虐待とDVの双方から親子を守る体制強化を進めるとともに、児童相談所の体制整備や妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行う日本版ネウボラの設置推進を図ること。

18年9月に行われた沖繩県知事選挙でも大きな争点となり、新基地建設反対を訴えた玉城デニー候補が39万6千62票の史上最多の投票で当選している。県民投票ではさらに多くの人が、埋め立て反対の票を投じたことから、辺野古新基地建設をめぐる沖繩の民意は明らかと言えらる。さらに条例で定めた日本の首相とアメリカ合衆国大統領に通知するとして4分の1をはるかに超える「反対」票数であり、県民の辺野古埋め立て反対の意志は明らかである。よって、本市議会は、政府に対し、地方自治の尊重を求める立場から、沖繩県民投票で示された結果を尊重し、対話による解決を図ることを求める。

◆学校施設環境整備事業に対するさらなる補助を求める意見書
本市議会は、政府及び東京都に対し、学校施設環境整備事業に対する補助金の十分な予算枠を確保し、未来を担う子どもたちが安全、安心、快適に学校生活を送れるよう次の事項を強く要望する。(1)学校施設環境整備に係る補助を当初予算で十分に確保すること。(2)交付団体と不交付団体とで、補助率に差がないようにすること。(3)学校施設環境整備に係る補助金の補助率を引き上げること。

◆保育園等の園外活動の安全確保を求める意見書
本市議会は、政府及び東京都に対し、次の事項を強く求める。(1)保育園等から危険な箇所を出してもらい、道路管理者や警察とともに道路・交通の安全点検を合同で行い、市区町村と連携して安全点検を実施すること。(2)「危険箇所」の解消に向け、交差点における歩車分離式信号の設置、防護柵(ガードレール)や横断歩道の設置、縁石による歩車分離や歩道の確保、警戒標識・路面標示の設置など、有効な対策を市区町村と協力して推進すること。(3)車優先の道路・交通政策を見直し、歩行者の安全確保を図ること。(4)安全対策のために必要な予算措置を実施すること。(5)保育士配置基準を見直し、園外活動における安全確保に必要な保育士等職員の増配置を行うこと。また、非正規職員も含めた保育士等職員の処遇改善を図り、職場への定着や経験の蓄積を促進させること。(6)国、東京都、市区町村、警察等、関係各局が連携して安全対策に取り組むための横断的体制をつくること。

◆最低賃金の大幅引き上げによる改善を求める意見書
本市議会は、国会、政府及び東京都に対し、次の事項を強く求める。(1)法定労働時間の労働で健康で文化的な最低限度の生活ができる賃金を保障するため、最低賃金を大幅に引き上げること。(2)最低賃金引き上げに対応する賃上げが困難な中小・零細企業に対し、最低賃金の引き上げに対応できるように国及び東京都による支援を行うこと。

◆「子どもの貧困対策の推進に関する法律」と「子どもの貧困対策に関する大綱」の見直しについての意見書
本市議会は、国会及び政府に対し、次の事項の対策をとることを強く求める。(1)目的・基本理念として、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、子どもの最善の利益の実現、子どもの意見を聞きシステム構築を明記すること。(2)市区町村ごとに子どもの貧困対策についての計画を立てること。(3)義務教育の完全無償化など、全ての子どもを対象とする普遍的な政策を基本にすること。(4)親や家族への支援と、労働や雇用環境の改善と所得再分配の強化が不可欠であると明らかにすること。(5)ひとり親家庭の貧困率を先進諸国(OECD加盟国)の平均値並みとする改善目標の設定と検証体制の構築を明記すること。(6)子どもの生活実態を把握する全国的な調査の実施と、子どもの貧困を多様に把握するための指標の開発・研究を進めること。

◆郵便区分機の有効活用及び消印機配置復活を求める決議
本市議会は、日本郵政株式会社、日本郵便株式会社、国会及び政府に対し、次の事項を緊急に求める。(1)三鷹郵便局等撤去された郵便局の消印機を復活配置すること。(2)「投票所入場整理券」同封郵便を年賀状のときに使用する区分機にかけ、速やかに本人に送達できるようにすること。(3)「投票所入場整理券」が速やかに本人に送達されるよう、公職選挙法施行令第31条を改正すること。(4)そのため郵便局職員の増員に必要な財政措置を行うこと。

予算総括表

(単位 千円)

会 計	令和元年度予算額			平成30年度 当初予算額B	増 △減 (A-B)	
	当初予算額	補正予算額	補正後予算額A			
一 般 会 計	68,975,802	3,207,516	72,183,318	68,828,422	3,354,896	4.9%

審査報告(要旨)

『今回の補正予算は、当初予算が骨格予算ではなく、補正予算審査特別委員会は4日間にわたり集中的に審査を行い、令和元年度一般計補正予算議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。』

令和元年度補正予算審査報告の概要

通年予算として編成されたため、将来的な課題に対応しつつ、必要最小限にとどめたことされている。その内容は歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ32億41万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億8千311万8千円とする。また、債務負担行為の補正及び地方債の補正を行うものであり、補正後の一般会計予算の総額は前年度予算と比較すると、33億5千489万6千円(4.9%)の増となっている。

附帯意見

1 防災都市づくりに向けて、市庁舎等の建てかえについては、劣化診断の結果を公表して市民や議会との合意形成に取り組み、対応を行うこと。
2 保育園の待機児童の解消に当たっては、機動性を活かして取り組みを推進すること。また、在宅子育て支援の充実を図ること。
3 学童保育所の待機児童の解消は、喫緊の課題であることから、空き家、空き店舗などの活用を含め推進すること。
4 学校体育館への空調設備の整備については、夏季の熱中症対策や避難所としての機能強化等の観点から、整備手法等について調査研究し、一刻も早く市内全校に普及を図ること。

状況が踏まえつつ、鋭意審査を進めた結果、本補正予算議案については原案を可決すべきものと決定した。委員会は次の附帯意見を付し、理事者に対して、それらに十分配慮した市政の執行を強く要望しました。

委員会の活動

平成31年4月～令和元年6月

総務委員会

6月14日、17日

【議案】

▼三鷹市組織条例の一部を改正する条例
▼地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
▼三鷹市市税条例等の一部を改正する条例
▼中仙川雨水貯留施設整備工事請負契約の締結について

文教委員会

6月18日

【行政報告】

▼平成30年度三鷹市立小・中一貫教育校評価・検証報告について
▼東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の取り組みについて

厚生委員会

6月18日

【行政報告】

▼令和元年度保育所入所状況について
▼令和元年度学童保育所入所状況について
▼三鷹市子ども・子育て支援事業計画改定に伴う子育て支援ニーズ調査及び、三鷹市子育てに関する生活実態調査(子どもの生活実態調査)の結果について
▼がんばる地域応援プロジェクトについて

【行政報告】

6月17日

【議案】

▼三鷹市下水道条例の一部を改正する条例
▼三鷹市環境委員会
▼三鷹市環境委員会
▼三鷹市環境委員会
▼三鷹市環境委員会

6月28日

▼まちづくり環境委員会審査報告書の確認について
ほか1件

東京外郭環状道路調査対策特別委員会

6月24日

【行政報告】

▼外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会(令和元年度第1回)について
▼中央JCT(仮称)地域において現在行われている工事の状況について
▼三鷹都市計画道路3・4・3号線事業概要及び測量説明会の開催結果について

調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会

6月24日

【行政報告】

▼調布基地跡地利用計画の経過について
▼調布基地跡地の整備状況について
▼調布飛行場について
▼株式会社東京スタジアムの経営状況等について
▼東京都調布飛行場の離着陸状況について
▼東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等について

三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会

6月25日

【行政報告】

▼三鷹駅前地区における再開発事業について
▼庁舎・議場棟における過去の耐震・劣化診断について

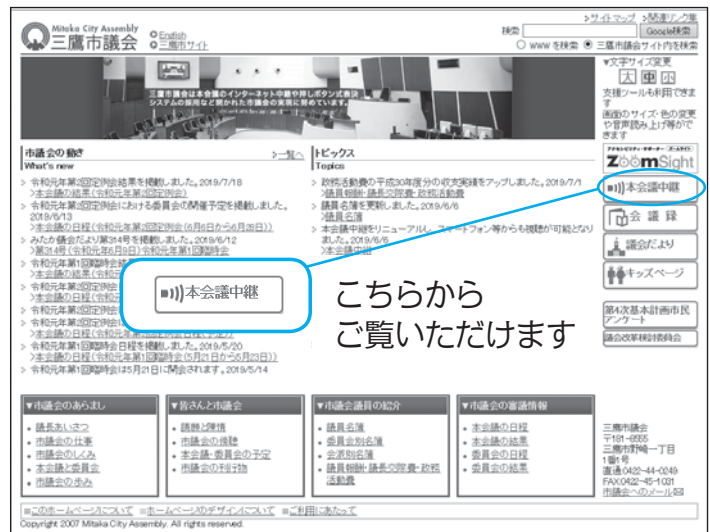
本会議のインターネット中継がスマートフォン等からもご覧いただけるようになりました

令和元年6月6日より本会議の生中継と録画中継の配信方式を変更し、パソコンだけではなくスマートフォンやタブレット端末等からもご覧いただけるようになりました。

生中継については、原則としてその日の会議が始まる10分前から会議が終了するまでの間、録画中継については、原則としてその日の会議の終了から24時間以内(ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日等を除く)から開始し、定例会は次回の定例会の前日までの間、臨時会はその臨時会閉会後に開催される定例会の次回定例会の前日までの間、それぞれご覧いただくことができます。

三鷹市議会ホームページ(下記アドレス)の「本会議中継」のページから、ぜひご覧ください。

http://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/



こちらからご覧いただけます

代表質疑

6月13日の本会議で、各交渉会派(所属議員3人以上の会派)の代表者6人が令和元年度補正予算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

市民の命と暮らしを守る 市政運営に努めよ



令和山桜会
後藤 貴光 幹事長

議員 補正予算編成に当たり大幅な予算の組み替えも提案できたが、必要最小限での組み替えとした理由と施策の優先順位を伺う。
市長 3月の市議会の議決を重く受け止め、早期の取り組みが必要な事業等にとどめた。人命に係る緊急性の高いものや政策的な波及効果の高いものが優先的に実施すべき施策と考える。
議員 市庁舎等建て替えの課題と今後の対応を伺う。
市長 防災都市のイメージを市民と共有し、規模や他の公共施設との機能分散、民間活力を活用した先行事例の調査、実現可能性や課題等を、専門家を含め慎重に整理し検討していく。
議員 三鷹駅南口中央通り東地区再開発の取り組みを伺う。
市長 結果を厳密に受け止めていく。市民と議会との対話を大切に、職員とも議論のできるオール三鷹の体制を整えていく。



新市長に市政運営の基本的な考え方を問う



自由民主クラブ
大戸 治重 幹事長

議員 市民と議会、職員を二分した市議・市長選挙の僅差での当選についての所見と、市民議会職員との向き合い方について伺う。
市長 結果を厳密に受け止めていく。市民と議会との対話を大切に、職員とも議論のできるオール三鷹の体制を整えていく。



議員 市と議員は互いを尊重し市民生活の向上に努めてきた。今後の議会との関係づくりを伺う。
市長 二元代表制のもと、互いの信頼関係が何よりも大切だと考える。
議員 教育委員会は不偏不党のもと独立性が担保されるべきだ。所見を伺う。
市長 児童・生徒の健全な育成のため、市長部局と教育委員会それぞれが、執行機関としての責務を適切に果たしていく。
議員 市役所は防災拠点等としての機能維持が必要であり、建て替えは緊急課題だと考える。所見を伺う。
市長 定期借地権など資産を活用して建て替えた事例がある。こうした手法も活用できるよう、三鷹駅前の再開発を行い、民間企業からも選ばれる魅力あるまちにすべきと考える。
議員 地域で福祉を担う知識や技能を身につけた人材と、その人材を求めている場や機会とのコーディネートが必要だ。所見を伺う。
健康福祉部長 これまで取り組んできた連携の仕組み等を一層充実させ、支援が必要な市民を地域で支える体制をより強化していく。
議員 ゼロから2歳児までの待機児童解消に有効と考えられる小規模保育所が、あまり増えていない。原因と対策について伺う。

三鷹のまちづくり高福祉・高環境の取り組みを



公明党
寺井 均 幹事長

議員 三鷹市基本構想では、人間の明日へのまちは高環境・高福祉のまちづくりによって実現されるとしている。所見を伺う。
市長 高環境・高福祉の基盤として、安全・安心という考え方が必要になる。安全・安心な生活があって初めて、福祉や環境を語るこ



子ども政策部長 これまで開設を支援した4施設の実績を踏まえ、更なる開設に向けた検討をする。
その他の質問 三鷹駅南口中央通り東地区再開発/三鷹中央防災公園・元気創造プラザ総点検についてなど
議員 市庁舎等の建て替えに当たっては三鷹郵便局との一体的な整備が有効だ。日本郵便株式会社との協議状況について所見を伺う。
企画部長 現時点では正式な協議は行っていないが、今後の整備の方向性や連携の方策について丁寧な話し合いを行ってほしい。
議員 市長は日本郵便株式会社社長と会って話をすべきと考える。所見を伺う。
市長 今、私の方であまり積極的に関与する必要はないのと考える。
議員 本市では待機児童を令和2年度末までにゼロにする認識がある。待機児童解消について所見を伺う。
子ども政策部長 目標年度である令和2年度末の待機児童解消を目指していく。いくつかの人財づくりなど



民主緑風会
谷口 敏也 幹事長

議員 三鷹台駅前周辺地区の整備については周辺住民等の意見を集約しながら進めるべきと考える。具体的な整備構想について伺う。
市長 当該地区が本市の東側の玄関口としてふさわしくなるよう周辺住民の要望も聞き整備を進める。
議員 空調設備を第五中学校体育館へ導入するとして考えた方等について伺う。
教育部長 熱中症対策及び避難所としての機能強化のため当該設備を導入した。また、設備をより長く持続でき、構造躯体への影響も少ないと見込まれることから当該校を選定した。
その他の質問 三鷹駅南口中央通り東地区再開発の推進/地域で福祉を支えていくための人財づくりなど



市民の命を大切に市政運営を



日本共産党
大城 美幸 幹事長

議員 私は「ぬちどうたから(命こそ宝)」の信条を軸に、三鷹の市政は命を大切に市政であるか、市民が主人公となっているか等をチェックしてきた。市長の政治信条について伺う。
市長 まだ政治信条を公にするほどのレベルに達していない。今の段階では控えさせてもらう。
議員 市庁舎等の建て替えについては、一旦立ち止まることは歓迎する。学校の建て替えを最優先にすべきと考えるが、何を本先に優先とするか、議会や市民の合意が必要だ。所見を伺う。



市長 公共施設の危険な状況等を確認し、共通の理解を持った上で、何を優先とすべきかについて、議会や市民と集中して議論をしていきたいと考えている。
議員 保育基準を守った上での待機児童解消と保育士の処遇改善に優先して取り組むべきだ。所見を伺う。
市長 保育士が確保され、一定の基準を満たした保育が行われることを目指したが、緊急対策として様々な
議員 市庁舎・議場棟等の建て替えに係る当初予算を減額し計画を白紙に戻すなら、日本郵便株式会社との協定を破棄するべきだと考える。見解を伺う。
市長 協定は両者が連携協力して検討することを定めたものであり、すぐに廃止の議論をする考えはない。
議員 補正予算の庁舎等建設費に、民間活力を導入した事例収集等の費用が計上されている。前市長の建て替え計画は白紙に戻すが、PFI方式等での建て替えを検討するということか。
市長 現況調査の結果、建

市庁舎建て替えは白紙撤回を



いのちが大事
伊沢けい子 議員

議員 市庁舎・議場棟等の建て替えに係る当初予算を減額し計画を白紙に戻すなら、日本郵便株式会社との協定を破棄するべきだと考える。見解を伺う。
市長 協定は両者が連携協力して検討することを定めたものであり、すぐに廃止の議論をする考えはない。
議員 補正予算の庁舎等建設費に、民間活力を導入した事例収集等の費用が計上されている。前市長の建て替え計画は白紙に戻すが、PFI方式等での建て替えを検討するということか。
市長 現況調査の結果、建



市内の小規模保育所

議員 市庁舎の将来の建て替えを見据えた一部改修や、財政的な見地からの資

議員 私は「ぬちどうたから(命こそ宝)」の信条を軸に、三鷹の市政は命を大切に市政であるか、市民が主人公となっているか等をチェックしてきた。市長の政治信条について伺う。
市長 まだ政治信条を公にするほどのレベルに達していない。今の段階では控えさせてもらう。
議員 市庁舎等の建て替えについては、一旦立ち止まることは歓迎する。学校の建て替えを最優先にすべきと考えるが、何を本先に優先とするか、議会や市民の合意が必要だ。所見を伺う。



現在の市庁舎・議場棟

議員 低所得者のセーフティネットとして、市立特養とんぼり山の役割が増している。廃止条例を廃止するべきではないか。
市長 議会での廃止決定は重い事案だ。福祉人財育成施設として活用を考える。
その他の質問 庁舎等建設基金/生涯学習センターの使用料についてなど

一般質問

6月6日、7日の本会議で、21人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

受動喫煙のないクリーンなまち 三鷹の実現を



令和山桜会
吉沼 徳人 議員

議員 三鷹駅前デッキの喫煙所については屋根付きで完全分煙にすることが喫煙者・非喫煙者双方に必要と考える。所見を伺う。

市長 路上喫煙や歩きたばこを抑制する条例の整備を図り規制を強化することや、分煙可能な環境整備について検討していく。

議員 市内商店街において空き店舗等を活用した完全分煙の喫煙所の設置が必要と考える。所見を伺う。

生活環境部長 商店会等とも連携を図るとともに、店舗等の喫煙室の設置状況や国等の動向等を注視し、喫煙者・非喫煙者が共存できる



令和山桜会
渥美 典尚 議員

議員 右折車が横断中の歩行者等に衝突する事故は多い。歩車分離式信号や右折専用信号の設置は事故防止につながるのではないか。

市長 信号規制で円滑な交通が阻害されることもある。市民意見等を踏まえつつ、交通管理者と協力し、

交通空白地域の解消に向けた取り組みを



令和山桜会
池田 有也 議員

議員 コミュニティバスの運行ルートについて、交通空白地域の解消に向けたルートの見直しはあるか。

市長 市民の意見を聞きながら、路線バスとコミュニティバスの役割分担を明確にし、ルート全体の見直しを行い、交通不便地域の解消に取り組んでいく。

議員 2025年には団塊の世代が後期高齢者となる。高齢化率の高い地域で、買い物困難を感じる

都市整備部長 高齢化率が高いと言われる地域と、交通不便地域の関係性を検証



令和山桜会
伊東 光則 議員

議員 市民満足度向上のためには、市長が市民の思いや現状をしっかりと把握することが必要だ。それには、

職員の意見を理事者が受け止める体制、新人職員から市長まで自由に発言できる

都市型の道の駅を設置し新たなにぎわい拠点とせよ



令和山桜会
土屋けんいち 議員

議員 道の駅は、安全で快適な道路環境の提供と、地域の振興に寄与するものである。従来は郊外に立地する立ち寄り型が主流であったが、近年では道の駅自体が目的とされる都市型の道の駅が開設されている。都市型

市長 来訪者が増えるなど従来型の効果に加え、地域ブランドの創出や市民コミュニティの創出にも大きな影響を与え、大きな効果が期待でき、雇用機会を増やすこともできると考える。

議員 東八道路沿いに道の駅を整備し、人・モノ・

議員 職員の仕事量については、過度な負担にならないように配慮することが必要だ。仕事量の適正化について、現状と課題を伺う。

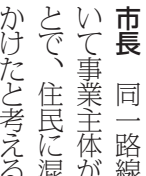


自由民主クラブ
吉野 和之 議員

議員 三鷹都市計画道路3・2・2号(東八道路)のうち、杉並区高井戸五丁目から三鷹市牟礼二丁目までの区間が、人見街道との

議員 職員の仕事量については、過度な負担にならないように配慮することが必要だ。仕事量の適正化について、現状と課題を伺う。

マイナンバーの利便性向上に努めよ



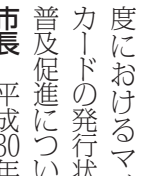
自由民主クラブ
穴戸 治重 議員

議員 マイナンバー制度は、公平・公正な社会の実現や国民の利便性の向上、行政の効率化を図るための社会基盤となる。平成30年度におけるマイナンバーカードの発行状況と今後の普及促進について伺う。

市長 平成30年度末で交付枚数は3万9千枚、交付率は16・33%となっている。国と連携し、一層の交付の推進を図ってほしい。

議員 かつては申し込みから発行まで2カ月程度要していた。現状について伺う。

市民部長 3月から5月上旬の繁忙期を除き、約1カ



自由民主クラブ
穴戸 治重 議員

議員 今後の道路建設では、市の考えを尊重するよう都に強く要望していくべきと考える。見解を伺う。

議員 今後の道路建設では、市の考えを尊重するよう都に強く要望していくべきと考える。見解を伺う。



開通した三鷹都市計画道路 3・2・2号

インターネット等の外部環境から隔離されており、可能性は低いと考えている。

議員 本市独自の新たなサービスなど、マイナンバーカードの利用範囲の拡充へよう適切に対応していく。

中小企業事業者に寄り添った支援に努めよ



公明党
大倉あき子 議員

議員 経済の持続的発展には中小企業への更なる支援が必要だ。中小企業の積極的な設備投資を後押しする生産性向上特別措置法による効果と課題を伺う。

生活環境部長 具体的効果や課題は今後見えてくるものと認識するが、先端設備を導入できない事業者への相談支援の強化が必要だ。

議員 事業承継の問題は喫緊の課題と考える。市内中小企業における事業承継の現状について伺う。

副市長 市内事業所数は平成21年から7年間で約800箇所減少している。事業承継できず廃業した事業所も一定数あるものと考えている。

議員 相続税等の納税を猶

予する事業承継税制の要件を緩和する特例措置の効果について所見を伺う。

副市長 より多くの事業者が使いやすい制度になったものと考えている。三鷹商工会が検討する支援事業と連携・協力しながら事業承継の支援を図っていきたい。

議員 中小企業の支援に当たっては、軽減税率の対策等、一歩踏み込んだ事業者に寄り添った対応が必要と考える。所見を伺う。

市長 事業者に寄り添った対応が様々な危機をチャンスに変え、市が信頼を獲得できるチャンスと考える。

その他の質問 たばこ対策について/バリアフリーのまちづくりについて

市民全員で取り組んでいくごみ対策を



公明党
赤松 大一 議員

議員 本市において家庭系ごみの有料化が開始されて10年が経つが、その成果と課題について伺う。

市長 平成30年度のごみ排出量は20年度比で約18%削減されたが、ここ数年は横ばい状況であるため、取り組みを一層推進する。

議員 コンビニに店のポイントが付くペットボトル回収機を設置し市民の意識向上に取り組んでほしいか。

市長 他自治体等における事例を研究し、ポイント制も含め幅広く検討する。

議員 環境等への影響が懸念されるマイクロプラスチック

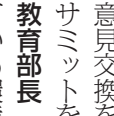
ックに対してどのような認識を持っているか伺う。

生活環境部調整担当部長 大きな影響があり早急かつ実効性のある対策が求められていると認識している。

議員 ごみ減量対策として、市内イベントでのリユース食器使用が効果的と考えている。所見を伺う。

生活環境部調整担当部長 ふじみ衛生組合が実施する

誰もが安全安心な道づくり



公明党
寺井 均 議員

議員 市内の都道には路面が荒れていたり、危険な箇所も多くある。都に整備を申し入れるだけではなく、本市としても未然に事故を防ぐ処置をすべきだ。

市長 これまでも歩行空間の改善等を都や三鷹警察署と連携し対応してきたが、今後も一層の連携を図り安全安心の確保に努める。

議員 買収された多くの都市計画道路用地は空き地状態のままである。駐車場や公園、高齢者の休憩場所等に有効活用してはどうか。

都市整備部長 休憩場所としての活用については、三鷹警察署とも協議し個別の事案ごとに検討したい。

議員 散歩中の保育園児に

ふじみまつりでリサイクル容器を活用している。市内の行事でもリユース食器の活用が進むよう検討する。

議員 児童・生徒が学校・学園を超えて、環境について意見交換を行う子ども環境サミットを開催すべきだ。

教育部長 各学校で行われている環境教育の共有とその手法について、市長部局と連携しながら検討する。

車両が衝突するという事故が他県であった。同様の事故を防ぐため、市内の全保育園で交通安全対策のマニユアルの再点検が必要だ。

子ども政策部調整担当部長 安全保育及び危機管理のマニユアルの再確認と周知徹底を図るとともに、園外活動で通行する道路の危険箇所を確認するなど安全対策の強化に取り組んでいる。

議員 住宅街の防犯カメラは依然少ない状況だ。市から積極的に町会や自治会に設置を働きかけられるべきだ。

副市長 安全安心パトロールを実施している団体に案内しており、今後も実施団体の拡充と防犯カメラの設置について働きかけたい。

本市独自の小・中一貫教育の更なる充実と発展を



民主緑風会
小幡 和仁 議員

議員 小・中一貫教育の更なる発展には学校支援ボランティアの育成が不可欠

だ。当該ボランティア活動における課題とコミュニケーション・スクール推進員に期待

する役割等について伺う。

教育部長 当該ボランティアの人財確保と育成が課題と考える。今後は放課後の学習補助も含めた学習補助ボランティアを確立するとともに、当該推進員には学校と地域人財をつなぐ役割等を期待する。

議員 本市の小・中学校におけるいじめの認知件数はここ数年減っていない。いじめを減らすための具体的な取り組みについて伺う。

教育部長 軽微ないじめもな取り組みについて伺う。

市長 施設が老朽化していることもあって、長期的な視点を持って議論しながら進めていく。

議員 コミュニティバスの利用者数向上と赤字解消に向け、どのような対策を検討しているか。所見を伺う。

市長 交通不便地域の解消という視点を重要視すると同時に、バスを使って行きたくなる場所の創出も必要と考えることから、施策を検討しながら進めていく。

時代の変化に即した行政対応を求める



民主緑風会
谷口 敏也 議員

議員 今年度のゴールデンウィークは10連休であったが、全国的には長期休暇後に児童・生徒が自殺したり、不登校になりやすいと聞く。本市の対応策を伺う。

教育部長 長期休業日前に自殺予防教育を行うとともに、連続で3日間欠席した児童・生徒には必ず家庭訪問を行うなど、不登校防止対策を行っている。

議員 本年4月に東京都の「子供への虐待の防止等に関する条例」が施行され



学校支援ボランティアの活動の様子

見逃さない、早期発見の意識の表れとして認知件数をむしろ評価している。具体的な対策として、家庭・地域・学校の連携、いじめ防止授業、情報モラル教育等に取り組んでいる。

議員 市の図書館は蔵書収容率98・5%と限界に近い。市が目指す滞在・交流型図書館の実現には抜本的な取り組みが必要と考える。所見を伺う。

市長 施設が老朽化していることもあって、長期的な視点を持って議論しながら進めていく。

議員 コミュニティバスの利用者数向上と赤字解消に向け、どのような対策を検討しているか。所見を伺う。

市長 交通不便地域の解消という視点を重要視すると同時に、バスを使って行きたくなる場所の創出も必要と考えることから、施策を検討しながら進めていく。



た。条例制定後の本市の取り組みについて伺う。

子ども政策部長 児童相談所から本市の子ども家庭支援センターへ移管される虐待案件に対応するため、職員を増員し、関係機関等との連携を強化している。

議員 児童虐待を許さない市として、子どもたちを守るための本市独自の児童虐待防止条例を制定するべきだ。所見を伺う。

市長 現在、条例制定は考えていないが、他市の動向

等を注視し検討していく。

議員 子どもの指導において、乱暴な言葉等で鍛えられ上達等につながる動機をいしている大人がいる。精神的に追い込むような指導も体罰であることを、教師や指導者等に対し、研修や注意喚起するべきだ。

学校トイレを早急に改善し健やかな学校生活を



日本共産党
紫野あすか 議員

議員 多くの市民から、学校のトイレについて、汚い、洋式に変えてほしいという要望を聞く。学校は市民も利用する場所である。市民から学校のトイレについての要望はあるか。

スポーツ文化部長 利用者は、もっときれいにしてほしい、洋式に変えてほしいといった声がある。

議員 最近洋式のトイレが主流となっている。いつまで何の洋式化する、という具体的な目標はあるか。

教育部長 洋式化率の低い学校を優先し、給排水管の劣化状況等も踏まえ、計画的に改善を進める。

議員 学校は緊急時の避難場所になることもあり、バ

リアフリーのトイレへの改修は必要不可欠である。誰もが気持ちよく過ごせるトイレ環境づくりは急務だと考える。所見を伺う。

市長 児童・生徒をはじめ誰もが安心して使えるよう、防災の観点からもできる限り早期の改修を行う。

議員 実際に学校に行きトイレを調査したところ、トイレの問題イコール教育問題だと考える。所見を伺う。

市長 トイレ問題は教育問題であるとともに、教育環境問題、防災上の問題、コミュニティの問題であると考える。計画的に総点検、整備を行っていく。

その他の質問 三鷹駅デッキの喫煙所について

園外活動時における園児の安全確保に努めよ



日本共産党
前田 まい 議員

議員 本市では安全保育のマニユアル等で散歩等への注意喚起を行ってきた。マニユアルにはお散歩マップを活用するところがあるが、保育園等にマップの作成を義務

付けているのか。

子ども政策部調整担当部長 義務付けていないが、園庭がなく、散歩を日課としている認証保育所等には、今後作成と活用を促す。

議員 各園のお散歩マップが、一定水準の内容となっているか市が確認することにも指導してはどうか。

子ども政策部調整担当部長 現在、園庭を持たない園等が通行する道路の危険箇所を確認している。お散歩マップに反映することが重要



三鷹駅前保育園のお散歩マップ

と考へ今後指導していく。

議員 保育施設全園に警察からのヒヤリ・ハット事案や周辺の事故情報を提供し周知を図ってはどうか。

子ども政策部調整担当部長 情報共有と安全性の向上は大切なこと考へる。園長会や連絡会等で情報共有を図っていく。

議員 保育の質の確保等には職員の定着が重要だ。市内の保育施設における正規・非正規職員の人数を伺う。

子ども政策部調整担当部長 私立認可保育園等における職員数は、26園で正規職員が90人、非正規職員が48人となっている。

〈その他の質問〉交通不便解消について



日本共産党 栗原けんじ 議員

全ての児童・生徒が滞りなく学習できる環境を



議員 本市の小・中学校においてはICTを活用した授業に力を入れているものと認識する。全ての児童・生徒が滞りなくICTを活用した授業を受けられるような環境は保障されているか所見を伺う。

教育部長 平成30年の教育ネットワークシステムの更新に当たり、普通教室、特別教室におけるICT環境の整備を行った。機器が故障した際には保守契約により対応し、修理中は予備機の配置を行っている。

議員 各小・中学校から寄せられる備品及び学習環境への要望について伺う。

教育部長 老朽化した備品の入れ替え、ICT環境の

充実、新学習指導要領を踏まえた教材の購入、教員負担を軽減するための人的措置の拡充等が挙げられる。

議員 各小・中学校における学習環境の改善は進んでいるのか。また、学習環境を改善するための予算は十分に確保されているか。

教育部長 学習環境の改善については限られた予算の中で優先度を見極めながら適切に対応する。また、学校の教職員を支援する人材の配置を拡充するなど、各学校が特色ある教育活動や今日的課題の解決に向けた取り組みが行えるよう環境整備を進めていく。

〈その他の質問〉市民に信頼される選挙管理について

補聴器購入助成等 高齢者施策の拡充を



いのちが大事 嶋崎 英治 議員



議員 高齢者になると多くの人が高齢期難聴や加齢性難聴となる。本市における実態把握の現状等について伺う。

市長 高齢期難聴者等の実態等は把握していない。介護予防や居場所づくりに取り組む中で、高齢者の状態について把握していく。

議員 2018年度末現在、都内9区には補聴器購入助成金制度があるが多摩地区にはない。本市における当該事業の実施について所見を伺う。

市長 他市区の状況を踏まえつつ、本市の財政状況を勘案し検討していく。

議員 昨年2月から三鷹駅

市立特養どんぐり山の存続で 市民ニーズに対応を



いのちが大事 伊沢けい子 議員



議員 困窮する高齢者等のセーフティネットでもある市立特別養護老人ホームどんぐり山のニーズは、今後高齢者が増える中で、更に高まるのではないかと考へる。市民の選択肢の拡充に決定している。今後建設される施設等と連携を深め、高齢者が安心して暮らせるよう取り組みを進める。

議員 低料金で入所できる多床至型のみ申し込みをしている特養特機者は約90名いる。ユニット型の特養を増設しても、待機者は解

消されないのではないかと考へる。

健康福祉部調整担当部長 全体として入所先とベッド数が増加することになるため、市民の選択肢の拡充につながる考へている。

議員 本市は長年にわたり道路の草取りや清掃業務を三鷹自由労働者組合等に委託し、高齢者や失業者等の自立支援に貢献してきた。本事業の評価を伺う。

市長 自立支援事業のシンボルのようにも感じている。今後も自立支援に関わる取り組みに対する貢献の

あり方を検討したい。

議員 本事業に対するニーズは増えている。事業を拡大するべきではないか。

進めたいと考へている。

都市整備部長 事業の拡大については、社会情勢や市民ニーズ等を考慮しながら進めたいと考へている。



いのちが大事 野村 羊子 議員



議員 誰一人取り残さない社会の実現を理念とした持続可能な開発目標であるSDGsについて本市の今後の取り組みを伺う。

企画部長 SDGsの視点を持って第4次基本計画第2次改定等に取り組み、市民への啓発に努めるとともに、具体的施策とSDGsとの関連性について見える化を図っていきたい。

議員 学生が集い、高齢者が交流する場として子ども食堂等の取り組みは分かりやすく、利用しやすい。食事をベースにした居場所づくり支援の方向性を伺う。

市長 支援を実施する団体の自主的な活動を尊重し、



無所属 半田 伸明 議員



基金のあり方を見直し 景気変動に備えよ

議員 本市は財政調整基金の残高の目標額を、市税収入の5%プラス20億円としている。臨時財政対策債の活用ができなくなった現在、リーマン・ショック級の危機が発生した場合を考へると、目標額を高くする必要があるのではないかと考へる。

企画部長 以前は市税収入の5%が目標額だったが、リーマン・ショック後の市

基金には借金を減らすための減債基金もある。減債基金設立について伺う。

企画部長 今の本市の状況では、減債基金を設置する

議員 子どもの家庭支援センター・すくすくひろば等を日曜日にも開館させることについて所見を伺う。

市長 当該施設における職員体制等の課題がある。今後十分協議し市民ニーズに応えられるよう検討する。

議員 現在当該施設における一時預かりの登録については利用者にも施設側にも負担がかかっている。当該事業の登録の仕組みの改善が必要だ。所見を伺う。

子ども政策部長 子どもの安全・安心を第一に考へて

差し迫った必要性は、あまり感じない。基金全体としての残高について、意識していきたい。



都民ファーストの会 山田さこみ 議員



三鷹の魅力を上し市民自線の市政の実現を

議員 都の補助制度を活用し、病児保育の利用予約をインターネットでできるシステム等を構築すべきだ。

市長 当該補助制度の活用も含め、病児保育の利便性向上に向け検討を進める。

議員 屋内原則禁煙の実効性を高めるため、都の補助金を活用し、換気設備を備えたコンテナ型喫煙所などを整備してはどうか。

健康福祉部長 更なる公衆喫煙所の整備は、全庁的な検討課題と認識している。

議員 本市の教育用コンピュータ活用は、換気設備を備えたコンテナ型喫煙所などを整備してはどうか。

健康福祉部長 更なる公衆喫煙所の整備は、全庁的な検討課題と認識している。

議員 本市の教育用コンピュータ活用は、換気設備を備えたコンテナ型喫煙所などを整備してはどうか。



つなぐ三鷹の会 成田ちひろ 議員



子育て家庭の潜在的ニーズを把握し対応に努めよ

議員 子どもの家庭支援センター・すくすくひろば等を日曜日にも開館させることについて所見を伺う。

市長 当該施設における職員体制等の課題がある。今後十分協議し市民ニーズに応えられるよう検討する。

議員 現在当該施設における一時預かりの登録については利用者にも施設側にも負担がかかっている。当該事業の登録の仕組みの改善が必要だ。所見を伺う。

子ども政策部長 子どもの安全・安心を第一に考へて

令和元年第2回定例会審議結果

Table with columns for 議員名 (議員名), 議案等の名称 (議案等の名称), and 議決結果 (議決結果) for various council members and proposals.

※ 会派名の略称は次のとおり... 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり... 議員氏名欄の意味はそれぞれ次のとおり... 討論の様子については、市議会ホームページ(1面題字下参照)の国会議中継(国会議録画)でご覧になれます。

《令和元年第3回定例会の予定》

Table listing the schedule for the 3rd regular meeting, including dates (e.g., 8月30日, 9月2日) and topics (e.g., 本会議(一般質問), 決算審査特別委員会).

※ 上記日程は変更になる場合があります。なお、本会議の開議時間は、通常午前9時30分を予定しています。
※ 請願・陳情は、本庁舎3階の議会事務局で受け付けています。
※ 請願・陳情は、本庁舎3階の議会事務局で受け付けています。なお、第1回請願・陳情締め切り時での提出を希望される場合は、なるべく定例会招集前に行われる議会運営委員会の開催日(通常、定例会第1日目の3日前)までにあらかじめ会派または議員にご相談をいただくようお願いいたします。

平成30年度政務活動費収支実績

Table showing the financial performance of political activities for the 30th fiscal year, categorized by party (e.g., 自由民主クラブ, 公明党) and item (e.g., 1 政務活動費, 2 その他の収入).

※ 会派の名称及び所属議員の人数は平成31年3月1日現在
※ 収支差額について、残額は市に返還し、支出超過分は会派が負担しています。
※ 収支実績の詳細は、市議会ホームページ等でご覧になれます。